



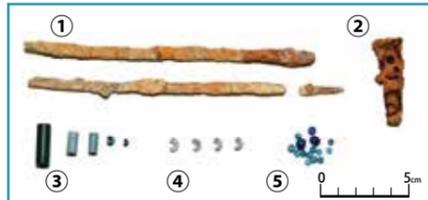
秦の歴史に思いをはせる

一丁塚 15号墳現地説明会

一丁塚 15号墳(秦)の確認調査について、5月29日に現地説明会が開催されました。

当日は多くの歴史ファンが参加。15号墳の特徴や竪穴式石室の状態、出土品についての調査員の説明に真剣に聞き入っていました。参加者からは成形時の状態や出土品の生産地などの質問が相次ぎ、出土品が北陸や朝鮮半島、さらには中国からの輸入品の可能性もあると知り、驚きの声をあげていました。

同古墳は規模や形態、露出していた石列の特徴から当初7世紀代のものと指摘されましたが、調査の結果竪穴式石室が確認され、その形態や出土した玉類から5世紀に造られた古墳である可能性が高くなりました。



説明を聞き、竪穴式石室をじっくりと眺める参加者(写真上)。一丁塚15号墳からの出土品。①鈿(やりがんな) ②釘③管玉(くだたま) ④小勾玉(しょうまがたま) ⑤ガラス小玉(写真左)

●ミニフォト

総社ゆかりの画家・作家を知る



解説を読みながら作品を鑑賞

総社吉備路文化館では6月4日から「子ども美術館～誇りに思う人々～」を開催。雪舟や満谷国四郎など総社市ゆかりの画家や作家を作品とともに分かりやすく紹介しています。この展示は7月24日(日)まで。

親子で食育を学ぶ



親子で楽しく調理

6月11日、市保健センターで栄養委員による「おやこの食育教室」が行われました。小学生とその保護者20人が集まり、牛乳・乳製品に関する栄養の話や調理実習をとおして食育について学びました。

研究成果を発表



展示コーナーで説明を受ける

県立大学 OPU フォーラム 2016 が、5月27日に岡山県立大学で開催されました。学科や研究室の研究成果の発表や、研究内容に関する展示、体験コーナーなどが設けられ、訪れた人たちは熱心に説明を聞いていました。

友好交流のお土産づくり



真剣に形を整える

6月2日、山手小学校の4年生が土鈴づくりを行いました。「きび路」と型押しされたこの土鈴は、7月に「十日町市・やまて友好交流事業」で山手地区にやってくる新潟県十日町市の小学6年生に、お土産として贈られます。

希少な動植物に学ぶ



ハッチョウトンボを発見

総社北小学校6年生40人によるヒゴ池湿地観察会が5月27日に行われました。児童は県レッドデータブックに載っているハッチョウトンボなど、ヒゴ池湿地の生態系や保全について学び、興味深げに湿地を観察していました。

テント村での活動を報告



災害支援について報告を行う

5月30日、日本記者クラブで熊本県益城町のテント村についての報告会が開かれました。テント村設置・運営に関する活動報告のなかで市長は、災害時に時間とともに変化する必要な支援の重要性を訴えました。

赤米文化を次世代へ継承

新本赤米の田植え

赤米文化を保存・継承していくため、6月16日に本庄国司神社(新本)の神田で赤米の田植えが行われました。総社赤米大使を務める歌手の相川七瀬さんと新本小学校の5年生11人、新本本庄赤米保存会のメンバーらが参加。和やかな雰囲気の中、豊作を願い丁寧に苗を植え付けました。参加した新本小学校の橋本歩空さんは、「すくすく大きく育ててほしい」と収穫を楽しみにしていました。この神田で栽培された赤米は、神饌米として本庄国司神社に奉納されます。

赤米神事は新本のほか、長崎県対馬市と鹿児島県南種子町で伝えられており、「赤米伝統文化交流協定」を結んでいる3市町は日本遺産への登録を目指しています。



赤米の苗を植え付ける相川さんと新本小学校5年生



文化や食で国際交流

チャイナフェスタ開催



中国の広場ダンスで盛り上がる会場

6月12日、総合福祉センターでチャイナフェスタが開催されました。チャイナフェスタは市民提案型事業の一環として、外国人と日本人や、外国人同士の交流を深めるため、総社ブラジリアンコミュニティ&インターナショナルフレンズにより実施。この日は約250人が集い、歌やダンスなどのステージ発表が行われたほか、中国の各地方の家庭料理が振る舞われ、訪れた人は文化や食を通じて交流を深めていました。

吹奏楽の音色が響く



アンコールでは校歌も演奏

総社南高等学校吹奏楽部の定期演奏会が5月28日、市民会館で行われました。息の合った演奏や会場を沸かせるパフォーマンスなど盛りだくさんのステージに、700人を超える観客は盛大な拍手を送っていました。

市街地にオアシス



冷たい水に大はしゃぎ

5月24日、市役所南交差点にある「まちかどの泉」で噴水が再開しました。同日、夏開き式が行われ、総社南幼稚園の園児25人と近隣住民が参加。園児たちは暑い夏に涼をもたらす水に触れ、喜びの声をあげていました。

青空のもと白熱



狙いを定めボールを投げる

5月18日、市長杯ペタンク大会が市スポーツセンター多目的広場で開催されました。市内のいきいきシニア総社から21チーム66人が参加。抜けるような青空のもと試合は白熱し、常盤白寿会が総合優勝しました。